

令和6年度家畜排せつ物の利用の促進を図るための意見交換会

2024年9月13日

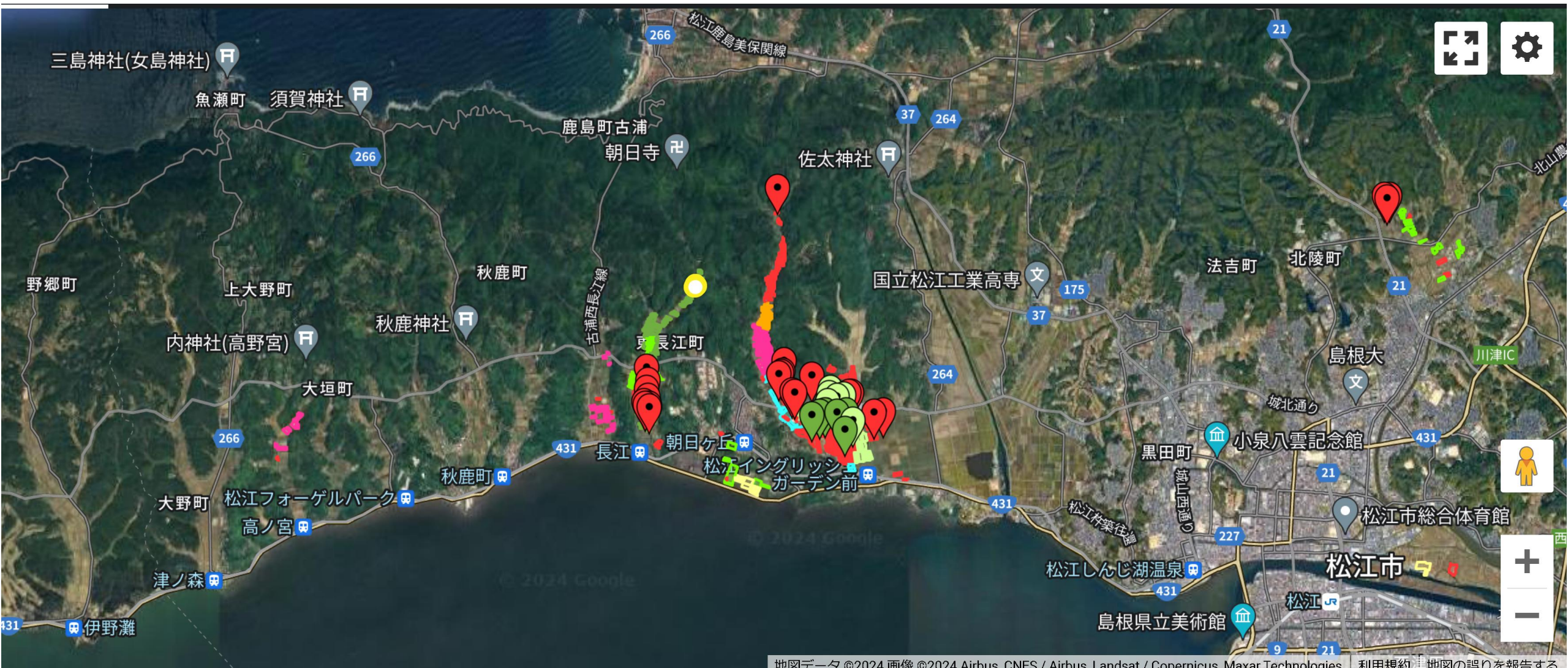
カンドーファーム株式会社
代表取締役 田尻一輝

1. 会社概要

(2024年4月現在)

法人名	カンドーファーム株式会社
事業内容	水稻の栽培及び出荷販売/稲農作業の受託
資本金	5,000,000円
設立日	2008年3月3日
所在地	〒690-0151 島根県松江市古曽志町307-1 TEL : 0852-36-6068 FAX : 0852-36-6078 E-Mail : kandoshop@kandofarm.co.jp
代表者	代表取締役 田尻 一輝 (たじり かずてる)
経営面積	約102ha (2024年4月現在)
主要取引先銀行	株式会社山陰合同銀行 日本政策金融公庫
主取引先	有限会社内藤米穀・株式会社エイ・クリエイション 株式会社みしまや・マックスバリュー・社会福祉法人豊心会 旭製粉株式会社・両備産業株式会社・株式会社ヴィック 富士産業株式会社・有限会社旭養鶏舎・株式会社松永牧場 大信産業株式会社・株式会社サセキ中四国 三菱マヒンドラ農機株式会社・藤増牧場





管理農地





大区画化

整備前

整備済み

自動航行

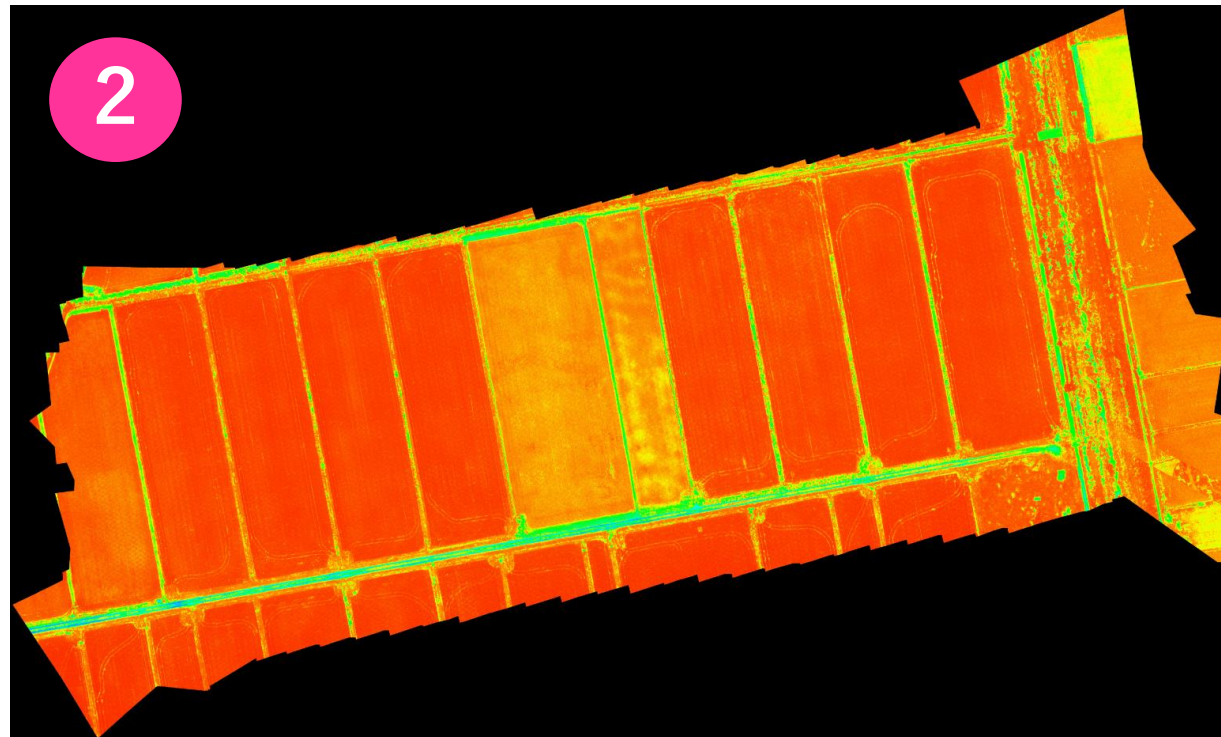




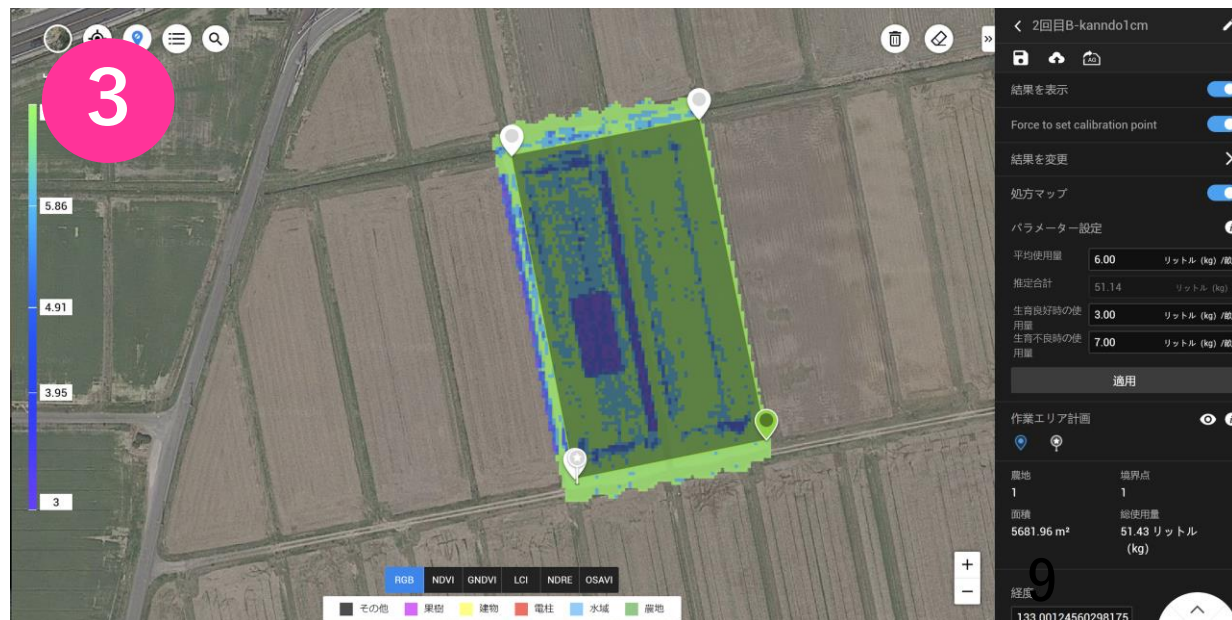
1 センシングと可変施肥

許曾志神社元宮址

2



3



牛ふん堆肥を散布



ペレット鶏ふん散布



令和4年度 国内肥料資源利用拡大事業



麦わらでの耕畜連携



農業体験と学習事業



Business area

4つの事業を中心に
事業展開しています

● ● 体験型学習事業 ● ●

- ・ 学校農業体験受入れ
- ・ 幼稚園・小学校・盲学校
- ・ 職場体験受入れ（中学校）
- ・ インターンシップ受入れ
- ・ 農業体験イベント
- ・ 企業連携型体験プログラム



コチラから体験活動の様子がご覧になれます

● ● 生産事業 ● ●

- ・ 米・小麦・果実栽培
- ・ 委託農業事業
- ・ 環境保全型農業
- ・ スマート農業推進
- ・ 食品安全推進（GAP）



カンドー
ファーム

● ● 出雲の国小麦プロジェクト事業 ● ●

- ・ プロジェクト事務局
- ・ 県内産小麦地産地消推進
- ・ 小麦生産に向けたシンポジウム
- ・ 生産・製造・流通連携型プロジェクト
- ・ 小麦品質改善研究
- ・ 消費者向け啓発型イベント



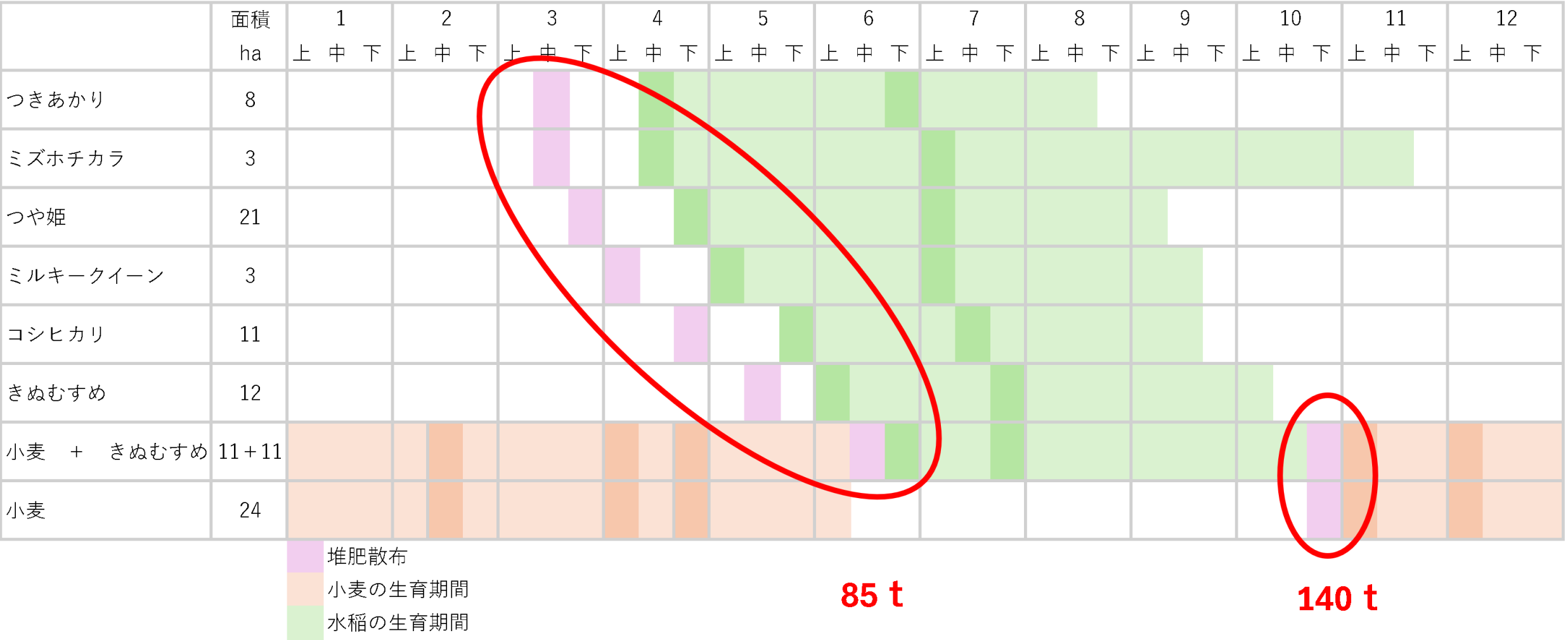
izumonokuni_komugi_project



● ● 地域活動事業 ● ●

- ・ 就農・移住支援
- ・ 多面的機能地域活動
- ・ 地域活動団体との連携

2. 堆肥の利用状況



2. 堆肥の利用状況

▶ 肥料利用量推移（年間）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
化成肥料	13	19	51	58	60	54	62	68
鶏糞堆肥	32			25	63	207	220	230
牛糞堆肥							50	130

単位は t

▶ 利用状況

- ・ 令和4年の肥料価格高騰から元肥を鶏糞に切り替え
- ・ 散布量増加に伴いペレット→マッシュに変更
- ・ 散布方法をブロキャス→マニアスプレッダーに変更

2. 堆肥の利用状況

▶ 肥料価格推移（年間）

	規格	2021	2022	2023	2024
コーティング肥料	20kg	2,916	3,650	4,580	3,780
高度化成	20kg	1,445	2,860	2,600	1,900
鶏ふん	600kg	3,000	3,000	3,000	3,300

価格は税抜き

▶ 資材費の削減効果（10a）

	2021	2022	2023	2024
水稻	2,166	2,900	3,830	2,955
小麦	965	2,380	2,120	1,222

価格は税抜き

2. 堆肥の利用状況

▶ 堆肥散布に係る固定費（10a）

	使用機械	作業時間（分／10a）
化成肥料散布（水稻）	田植え機（側条）	2
化成肥料散布（小麦）	ドリルに連結	2
堆肥散布	マニアスプレッダ	4～6×3人

	人件費	減価償却	合計増加コスト
水稻	300	800	1,100
小麦	480	1,200	1,680

単位は円

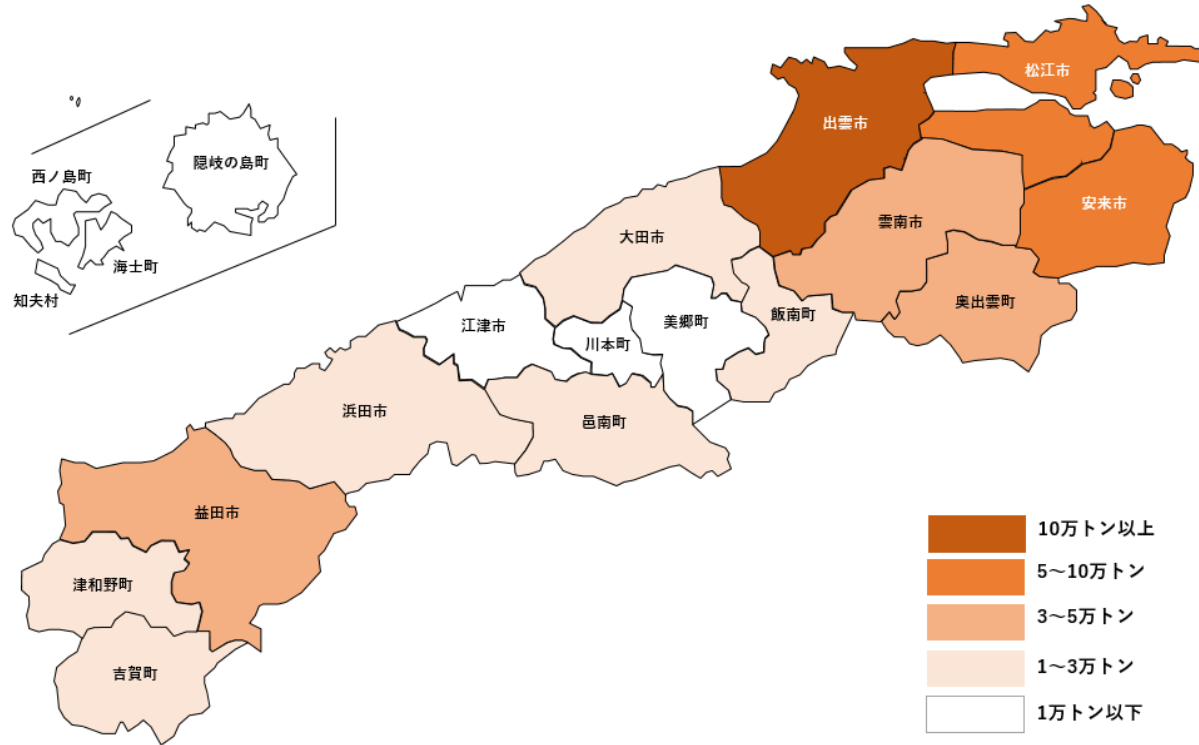
▶ 資材費の削減効果（10a）

	2021	2022	2023	2024
水稻	2,166	2,900	3,830	2,955
小麦	965	2,380	2,120	1,222

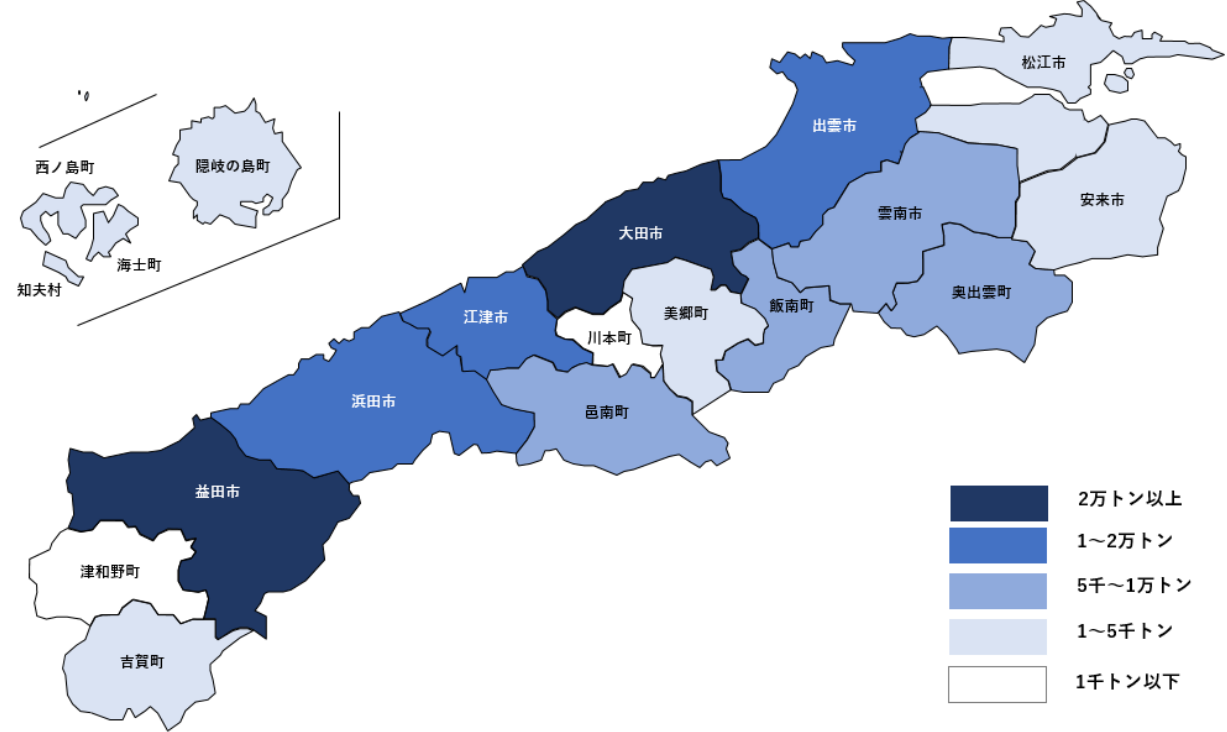
価格は税抜き

3. 堆肥供給の状況

▶家畜ふん堆肥の潜在需要の分布



▶家畜ふん堆肥の生産分布



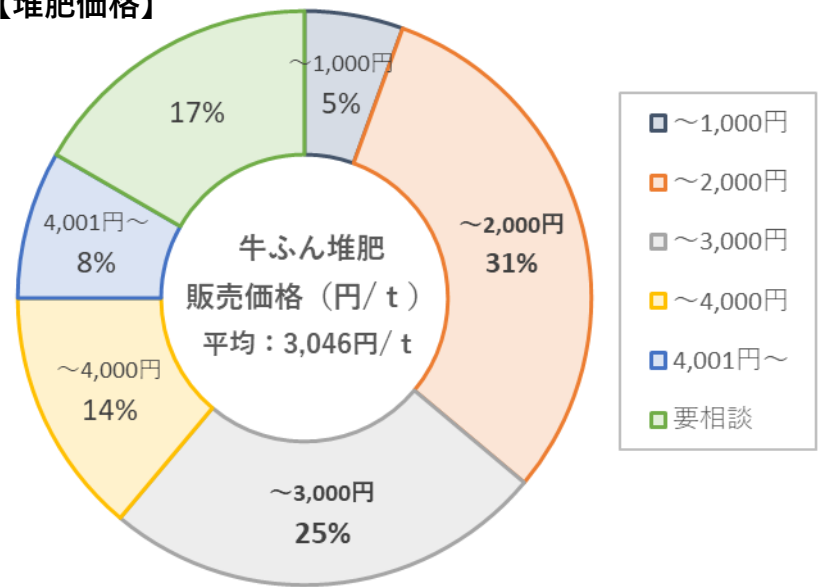
3. 堆肥供給の状況

▶島根県堆肥マップの公開情報集計

【掲載件数】

堆肥の種類	掲載数
牛ふん由来	48
鶏ふん由来	7
豚ふん由来	3
木質系由来	3
その他（複数販売）	1

【堆肥価格】



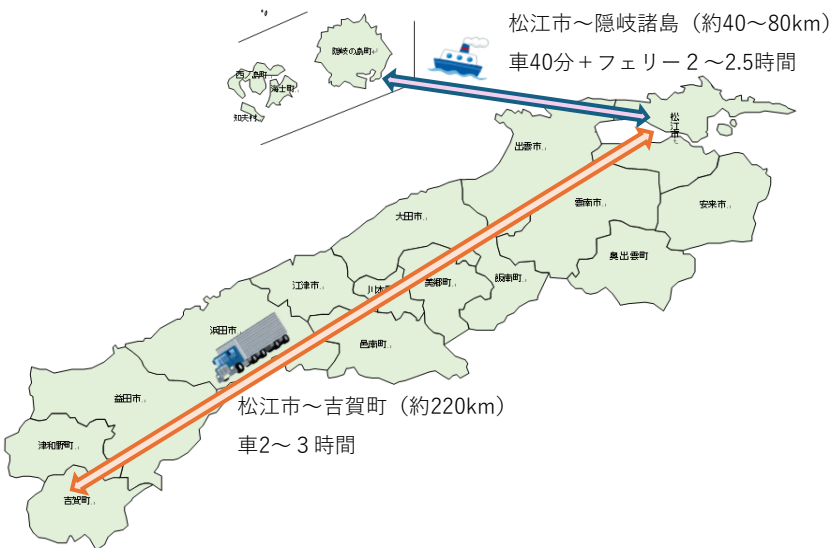
※畜産課調べ（R6.4.1時点の堆肥マップ掲載情報「牛ふん堆肥」のうち36件）
平均は要相談を除いた30件の価格

【配送】

堆肥の種類	掲載数	配送不可	配送可		
			条件あり	条件なし	要相談
牛ふん由来	48	0	30	1	17

配送条件

- ・町内、市内、地域内
- ・片道〇分以内
- ・〇袋以上の注文のみ



4. 耕畜連携の状況

市外の肥育農家さんと連携

- ・ 麦わら（1 t） ＝ 堆肥（1 t）
- ・ 稲わら（1 t） ＝ 堆肥（4 t）
- ・ わらの収集に関する作業、使用機械は畜産農家さんが負担
- ・ 堆肥の散布は弊社が行う

4. 耕畜連携の状況

水田活用の直接支払交付金（産地交付金）

【概要】

市町村が策定する「水田収益力強化ビジョン」に基づき、地域の特色をいかした魅力的な産地づくりに向けた取組を支援。
→松江地域農業再生協議会は17項目を設定



【項目7：資源循環（耕畜連携助成）】

①助成対象者

販売農家又は集落営農組織

②助成対象作物

WCS用稲（基幹作）

③助成対象の取組（抜粋要件）

- ・新規需要米取組計画の認定を受けていること
- ・連携の相手方と3年以上の利用供給協定を締結すること
- ・**当該年度における堆肥の散布の取組である**こと
- ・堆肥を散布する者は、畜産農家またはその他の委託を受けた者（交付対象者以外）により行われること
- ・原則、堆肥の散布量が10a当たりで2t又は4m³以上であること

④助成単価

8,000円/10a（上限：13,000円/10a）

県産水田粗飼料利用拡大推進事業（県単）

【概要】

県産水田粗飼料の利用拡大に向け、畜産農家と耕種農家が連携して水田粗飼料を生産する取組を支援。

①助成対象者

畜産農家

②助成対象作物

稲WCS、牧草、稲わら



③助成対象の取組（抜粋要件）

- ・畜産農家の県産粗飼料利用量がR4年度よりも拡大すること
- ・畜産農家は県内の耕種農家等と3年以上の飼料購入（利用供給）契約を締結すること
- ・畜産農家と耕種農家で連携し、品質改善、反収増加に取り組んでいること

～取組例～

栽培期間中の圃場確認（収穫適期判断、雑草混入軽減等）、
収穫調製時の現場確認（土砂等混入防止、梱包・搬送時破損軽減等）、飼料品質に係る情報提供、**堆肥散布**等

④助成単価

③の取組により生産した作物のうち、

- ・稲WCS、牧草（トモコシを含む） 16,000円/2,500kg
- ・稲わら 4,000円/300kg

5. 課題

▶ 耕種側が「堆肥」に求めること

- ・ 完熟で安定した品質
- ・ 安定供給（長期的に攻守農家を満たせる）
- ・ 価格の低下（売上げに対して3%以内）

▶ 利用を拡大するためには

- ・ 10a粗利額を上げる（農地の利用率を上げる）
- ・ 堆肥散布作業を高効率に
- ・ 使用時期を分散させることで運送、ストックの問題を最小限に
- ・ 補助事業が現状では不可欠